

みんなのひろば

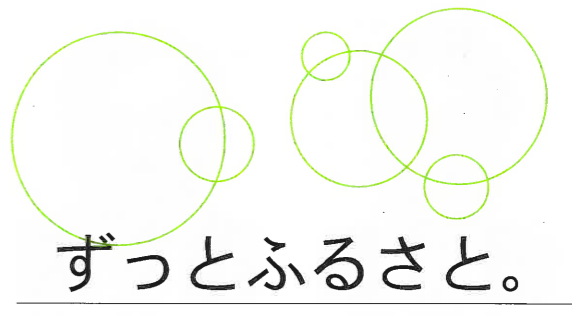
ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。
■役場企画室 TEL42-1613

おいしいキュウリを長くお届け

一足早い定植作業



4月2日、伊丹沢の会田征男さんのハウスでキュウリの定植作業が行われました。
通常、キュウリは5月末から6月頃に定植作業を行い、10月末頃まで収穫を行います。今回の試みは、春と秋に2度の定植を行うことによって、長期にわたってキュウリの収穫を行おうというものです。
会田さんによると、「2回定植のアイデア

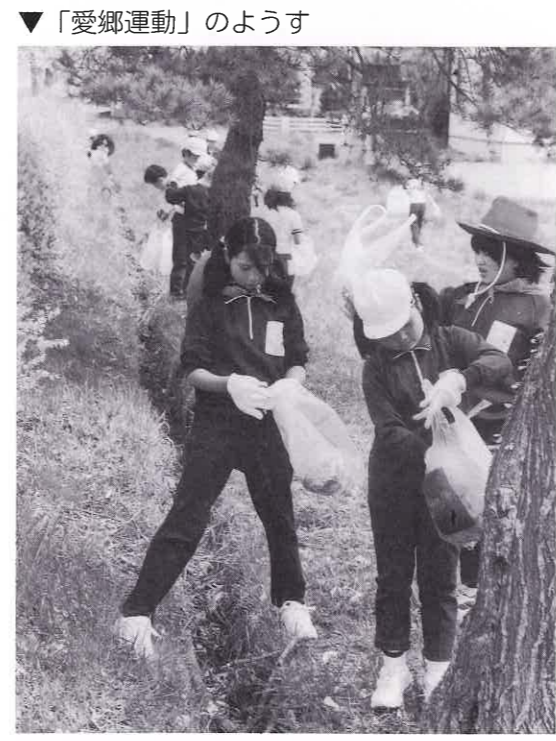


ずっとふるさと。
だから美しく

草小児童が「愛郷活動」

4月16日、草野小学校児童が全員参加してゴミ拾いの奉仕作業が行われました。
「愛郷活動」と名付けられたこの活動は、子どもたちに、ふるさとの環境を美しくしようとする心を育むとともに、奉仕する子どもたちの姿を地域の人たちに見てもらおうことで、大人たちにも環境美化に対する気持ちを

持ってもらおうと、草野小学校が毎年行っているものです。
この子どもたちは、各部落ごとに分かれ、学校周辺や道路、公民館などのゴミや空き缶を一生懸命拾っていました。
作業に参加した子どもたちは「もっとゴミの量が少ないかと思ったけど、意外と多くて驚いた」と感想を話していました。



▼「愛郷運動」のようす

は昨年からやってみたいと思っていた。今年の気候を見て、条件がいろいろなので実行に踏み切った」とのこと。
ただし、気候が暖かいとはいえ、今後霜や保温対策など気をつけることはたくさんあるということです。
この日植えられたキュウリは、順調に育てば5月頃には収穫を迎えられるということだ。

20のツレトコ



古川和也さん
東京都在住
(飯樋町出身)

◆伝えたいこと

自分は今、学費を稼ぎながら東京の大学に心理学を勉強するために通っています。心理学を学ぼうと思っただけは、中学生の時、学校に行っていなかったことです。今、自分のような子どもが増えてきていることを知り、少しでも役に立てることがあればと思ひ勉強することにしました。
今の飯樋にも少なからず登校拒否の子もいるはずですが、そんな子どもや、その親に、役に立たないかもしれないけど、自分ができるアドバイスをしたと思います。
学歴社会の中、子どもが学校を出ていないと心配な親も多いはず。それで、子どもを無理やり行かせようと怒ると、お互いストレスが溜まり心の病にかかってしまいます。そうならないために暖かく見守るのが一番だと思います。子どもが勇気を出して学校に行けるようになるまで子どもと親の信頼関係を築いてください。子どものほうは勇気を出して誰かに相談するのがいいと思います。きつと力になってくれるはず。がんばってください。
自分は学校に行かなかったことで、人はひとりでは生きていけないことに気付きました。力になってくれた皆ありがとうございます。そしてこれからもよろしく。

長年の活動に感謝

ボーイスカウト福島連盟から表彰



佐藤照之さん(二枚橋)に、ボーイスカウト福島連盟長(県知事)から表彰状と有効章が贈られました。
今回の表彰は、ボーイスカウト運動発展のために永年協力してきた功績が認められたもので、佐藤さんは「今、村のボーイスカウト活動は、やむを得ず休団となっているが、復活を夢見てがんばりたい」と表彰を受けての感想を話していました。
また、佐藤さんの奥様の良子さんにも感謝状が贈られています。

「安全」への変わらぬ願い

ミニぞうりをプレゼント

4月8日、永沢清さん(飯樋町)が飯樋小学校の入学式で新入生にミニぞうりをプレゼントしました。
永沢さんはこのぞうりを、子供たちが安全に学校に通えるようにと願いを込めて、毎年贈り続けています。
当日、新入生代表の星和真くん(飯樋町)に永沢さんは「事故に合うなよ。気を付けてな」とミニぞうりを手渡しました。
このぞうりは他にも村内の幼稚園、小学校の新入生全員に贈られています。



▲マスコットを手渡す永沢さん